

2017年度前期末試験問題・微分積分Ⅲ(DC3)

注意：答のみの問題で，問題番号を囲む括弧は数式上必要な括弧を兼ねていない。例えば

$x^2+2x-3=(1)(x-1)$ となっていたら (1) の正解は $(x+3)$ であり， $((1))(x-1)$ となっていたら正解は $x+3$ である。また，不必要な括弧をつけた解答も減点もしくは0点とする。

1. 次の各問いに答えよ。ただし，答のみ。(25点)

(1) 関数 $f(x, y) = 8x^3 - 6xy - y^3$ について，次の問いに答えよ。

[1] 停留点の座標を求めよ。 [2] $D(x, y) = f_{xx}f_{yy} - (f_{xy})^2$ を求めよ。

[3] 極値と，それを取る点の座標を求めよ。

(2) 次の方程式で与えられる x の関数 y を微分せよ。

[1] $\sqrt{x} + \sqrt{y} - 1 = 0$ [2] $x^3y^3 + y - x = 0$

(3) 方程式 $\cos(xyz) = 1$ で与えられる x, y の関数 z について，次のものを求めよ。

[1] z_x [2] z_y [3] z_{xx} [4] z_{xy} [5] z_{yy}

(4) 曲面 $x \log y - \log z = 0$ 上の $x=1, y=e$ に対応する点における接平面の方程式を求めよ。ただし， $ax+by+cz+d=0$ の形 (a, b, c, d は定数) で答えよ。また，簡単に求められる関数値は求めたものを答えよ。

(5) 条件 $x^2+y^2=4$ のもとで関数 $f(x, y) = x+4y+1$ を考えるとき，次の問いに答えよ。

[1] この条件のもとで $f(x, y)$ が極値を取りえる点の座標を求めよ。

[2] この条件のもとで $f(x, y)$ の最大値と，それを取る点の座標を求めよ。

[3] この条件のもとで $f(x, y)$ の最小値と，それを取る点の座標を求めよ。

2. 次の各問いに答えよ。ただし，答のみ。(20点) (注意：(2)の[2]は1つにまとめよ)

(1) 次の2重積分の値を求めよ。

[1] $\iint_D xy \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq \sqrt{x} \}$

[2] $\iint_D x^2y \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid x \geq 0, y \geq 0, x^2+y^2 \leq 1 \}$

[3] $\iint_D xy^2 \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid 0 \leq y \leq 2, 0 \leq x \leq \sqrt{4-y^2} \}$

[4] $\iint_D y \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid y \geq 0, x^2+y^2 \leq 9 \}$

[5] $\iint_D \sin \sqrt{x^2+y^2} \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid x^2+y^2 \leq \pi^2 \}$

(2) 次の累次積分の積分順序を変更せよ。なお，被積分関数は連続とする。

[1] $\int_0^4 \int_{\sqrt{y}}^2 f(x, y) \, dx dy$ [2] $\int_0^1 \int_0^1 f(x, y) \, dy dx + \int_1^2 \int_0^{2-x} f(x, y) \, dy dx$

(3) $I = \int_0^{\sqrt{3}} \int_1^{\sqrt{4-x^2}} \frac{x}{\sqrt{x^2+y^2}} \, dy dx$ に関する次の計算の [] に入る最も適切な答えを解

答用紙に書け。

(ここから) 積分順序の変更を行うと,
$$I = \int_1^2 \int_0^{[1]} \frac{x}{\sqrt{x^2+y^2}} dx dy = \int_1^2 \left[[2] \right]_0^{[1]} dy$$

$$= \int_1^2 ([3]) dy = [[4]]_1^2 = [5] \quad (\text{ここまで})$$

3. 曲面 $z = x^2 + 2y^2$ と平面 $x + y = 1$ および 3 つの座標平面で囲まれる立体の体積 V を求めよ。
(5点)

4. $F(x, y) = x^4 - 2y^3 - 2x^2 - 3y^2 + 1$ と置くと、 $F(x, y) = 0$ で定まる x の関数 $y = y(x)$ について、次の各問いに答えよ。なお、このとき、
$$\frac{d^2y}{dx^2} = - \frac{F_{xx}F_y^2 - 2F_{xy}F_xF_y + F_{yy}F_x^2}{F_y^3}$$
 が成り立つことは用いてよい。ただし、(2) は答のみ。(13点)

- (1) $F(x, y) = 0$ の特異点、即ち $F_x = F_y = 0$ となる点 (x, y) を求めよ。
- (2) 特異点以外の点で $y(x)$ が極値を取り得る x の値、およびその時の y の値を求めよ。
- (3) $y(x)$ の極値とそれを取るときの x の値を求めよ。なお、特異点での極値判定は行わなくてよい。

5. $I = \iiint_K xy \, dx dy dz$, $K = \{(x, y, z) \mid x^2 + y^2 + z^2 \leq R^2, x \geq 0, y \geq 0\}$ に関する次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用紙に書け。なお、 R は正定数とする。ただし、答のみ。(12点)
注意：[] には数値が入る。

(ここから) 球面座標に変換する。即ち、 $x = r(1) \cos \phi$, $y = r(2)$, $z = r \cos \theta$ とすれば

K は $\tilde{K} = \{(r, \theta, \phi) \mid 0 \leq r \leq R, 0 \leq \theta \leq [3], 0 \leq \phi \leq [4]\}$ となり Jacobian は

$$J = \frac{\partial(x, y, z)}{\partial(r, \theta, \phi)} = (5) \text{ となるから}$$

$$I = \iiint_{\tilde{K}} (6) \, dr d\theta d\phi = \left(\int_0^R (7) \, dr \right) \left(\int_0^{[3]} (8) \, d\theta \right) \left(\int_0^{[4]} (9) \, d\phi \right)$$

ここで $\int_0^{[3]} (8) \, d\theta = [10]$, $\int_0^{[4]} (9) \, d\phi = [11]$ だから、 $I = (12)$ (ここまで)

6. $I = \iiint_K \tan^{-1}(x+y+z) \, dx dy dz$,

$K = \{(x, y, z) \mid 1 \leq x+y+z \leq \sqrt{3}, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0\}$ について、次の各問いに答えよ。
(12点)

(1) 変数変換
$$\begin{cases} x+y+z = u \\ y+z = uv \\ z = uvw \end{cases} \dots \textcircled{1}$$
 に関する Jacobian $J = \frac{\partial(x, y, z)}{\partial(u, v, w)}$ を求めよ。

(2) $\textcircled{1}$ の変換によって K は $\tilde{K} = \{(u, v, w) \mid 1 \leq u \leq \sqrt{3}, 0 \leq v \leq 1, 0 \leq w \leq 1\}$ となるこ

とを用いてよいので、変換①を用いて I を求めよ。指示に従わない解答には点を与えない。

注意：逆三角関数の値は求めよ。

7. 次の各問いに答えよ。ただし、答のみ。(13点)

(1) a を正定数とするとき三角錐

$$K: x+y+z \leq a, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0$$

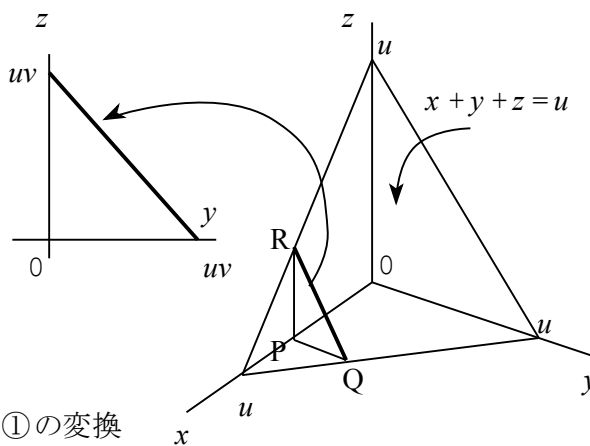
の体積 V を重積分を用いて求める次の

計算の [] に入る最も適切な答えを

解答用紙に書け。

(ここから) $V = \iiint_K dx dy dz$ であるが問題 6 の①の変換

を用いれば $V = \int_0^a \int_0^1 \int_0^1 [1] dw dv du = [2]$ (ここまで)



$$P(u(1-v), 0, 0)$$

$$Q(u(1-v), uv, 0)$$

$$R(u(1-v), 0, uv)$$

(2) $M = \{ (x, y, z, s) \mid x+y+z+s \leq a, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0, s \geq 0 \}$ (a : 正定数)

について、 $I = \iiint\int_M s^2 dx dy dz ds$ を求める次の計算の [] に入る最も適切な答えを解答用紙

に書け。

(ここから) $0 \leq s \leq a$ なる s に対して M と超平面 $s=s$ との共通部分を xyz 空間に射影した立体を

K_s とする。即ち、 $K_s = \{ (x, y, z) \mid x+y+z \leq [1], x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0 \}$ となる。従って

$I = \int_0^a s^2 \left(\iiint_{[2]} dx dy dz \right) ds$ となる。(1) の結果から $\iiint_{[2]} dx dy dz = [3]$ だから

$$I = \int_0^a s^2 [3] ds \stackrel{\text{ア}}{=} \frac{a^6}{6} \int_0^{[4]} [5] dt = [6] \int_0^{[4]} (1-t)^5 dt = [7]$$

(ア: $s=at$ と置く) (ここまで)